

## 2.2 騒音調査

### 1) 測定方法

騒音の調査は JIS Z 8731 に定める「環境騒音の表示・測定方法」に準じて行う。測定は普通騒音計の動特性を Fast、周波数補正回路を A 特性とし、メモリに 0.2 秒間隔の瞬時値を昼間（午前 8 時から午後 7 時）測定・記録した。測定値は1時間毎に集計し、等価騒音レベル(LAeq)、時間率騒音レベル(L5) 及び最大騒音レベル(LAmax)を算出した。なお、対象外と考えられる騒音測定値がある場合は除外し、集計した。



## 2.3 振動調査

### 1) 測定方法

振動の調査は JIS Z 8735 に定める「振動レベル測定方法」に準じて行う。測定は振動レベル計の振動感覚補正回路鉛直動特性とし、メモリに 0.1 秒間隔の瞬時値を昼間（午前 8 時から午後 7 時）連続測定・記録した。

測定値は 1 時間毎に集計し、時間率振動レベル(L10)及び最大振動レベル(L<sub>max</sub>)を算出した。なお、対象外と考えられる振動測定値がある場合は除外し、集計した。

	
振動計 (VM-55)	測定状況

## 2.4 悪臭調査

### 1) 試料採取方法

試料の採取は気象条件を考慮し、敷地境界線からおおむね 10m 以内の地点の地上 2m 以内において、風上、風下（最も臭気の強い地点）の 2 地点で試料採取ポンプ直接採取法で試料を採取した。



### 2) 採取した試料の測定方法

臭気の測定は「臭気指数及び臭気排出強度の算定の方法(環境庁告示 63 号)」に準じて、あらかじめ選定したパネルによって行った。

測定項目	測定方法
臭気指数 臭気濃度	三点比較式臭袋法「臭気指数及び臭気排出強度の算定の方法(環境庁告示 63 号)」
臭気強度	6 段階臭気強度表示法「臭気の嗅覚測定法」

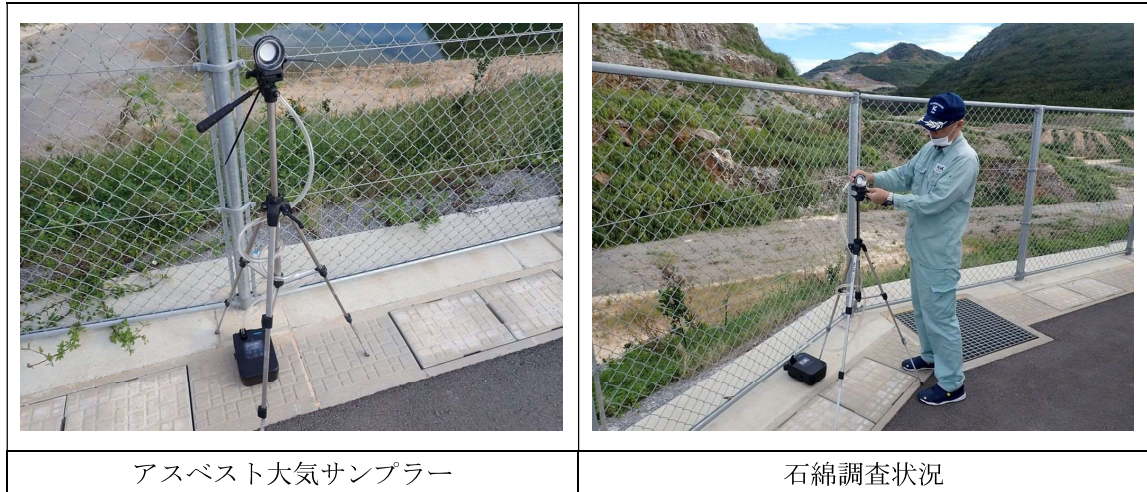




## 2.5 石綿調査

### 1) 試料採取方法

敷地境界線付近で、風下側 2 箇所で採取を行う。フィルターホルダーは廃棄物処分場等の方向に向ける。ホルダーに捕集ろ紙を装着し、原則として 10L/min の流量で 4 時間通気して、ろ紙上に試料を捕集する。試料の捕集後、ろ紙をホルダーから外し、直ちに収納容器に収納する。一連の作業を 3 回行った。



### 2) 測定方法

フィルターを処理して標本を作製し、位相差顕微鏡法で総繊維を計測し、やや高い値（目安としては 1 f/L 超とする）が計測されたサンプルについては、分析走査電子顕微鏡等によりアスベストを同定して計数する。